

議会だより



第18回

やまぐち舞の大祭

主催

大口町NPO登録団体
やる舞いプロジェクト・大口町



9月14日 町民会館駐車場にて

平成30年度決算

設備改修・インフラ整備に17億円

2～3

一般質問 「正規保育士確保に向けた優遇策を」 9～19

「西小学校の建て替えは」

「電動アシスト自転車購入補助を」ほか



大口町議会
ホームページ

No.222

令和元年10月25日

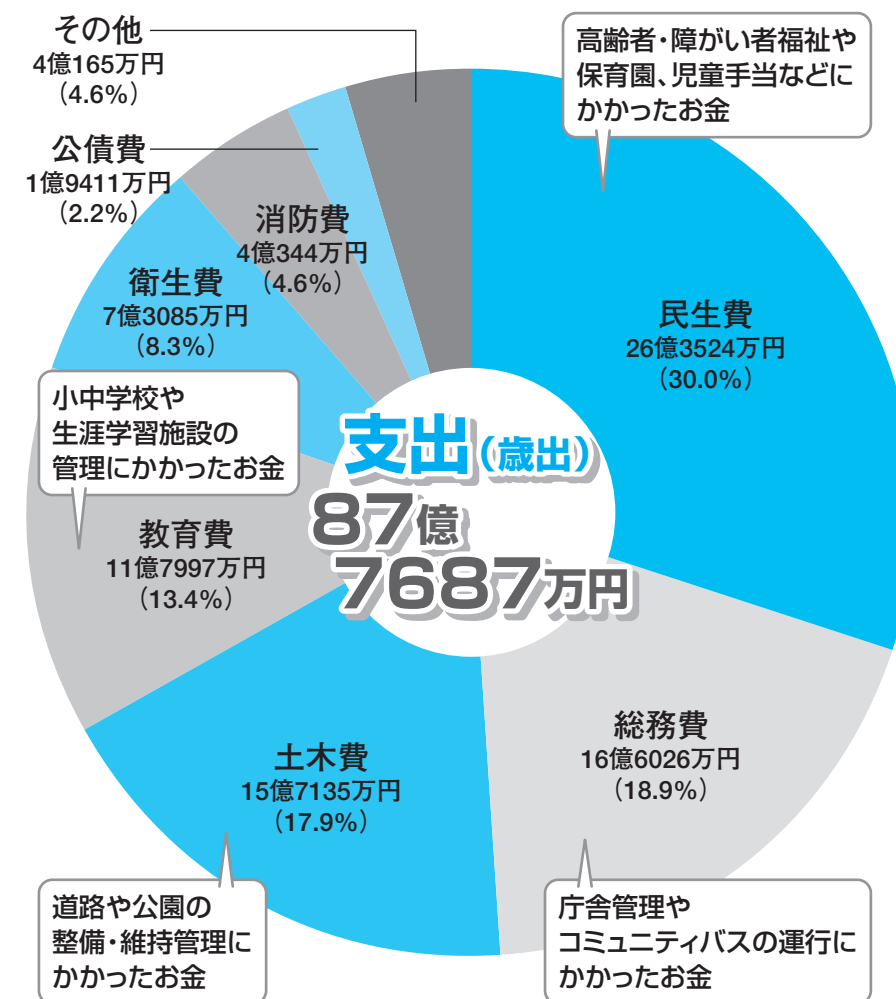
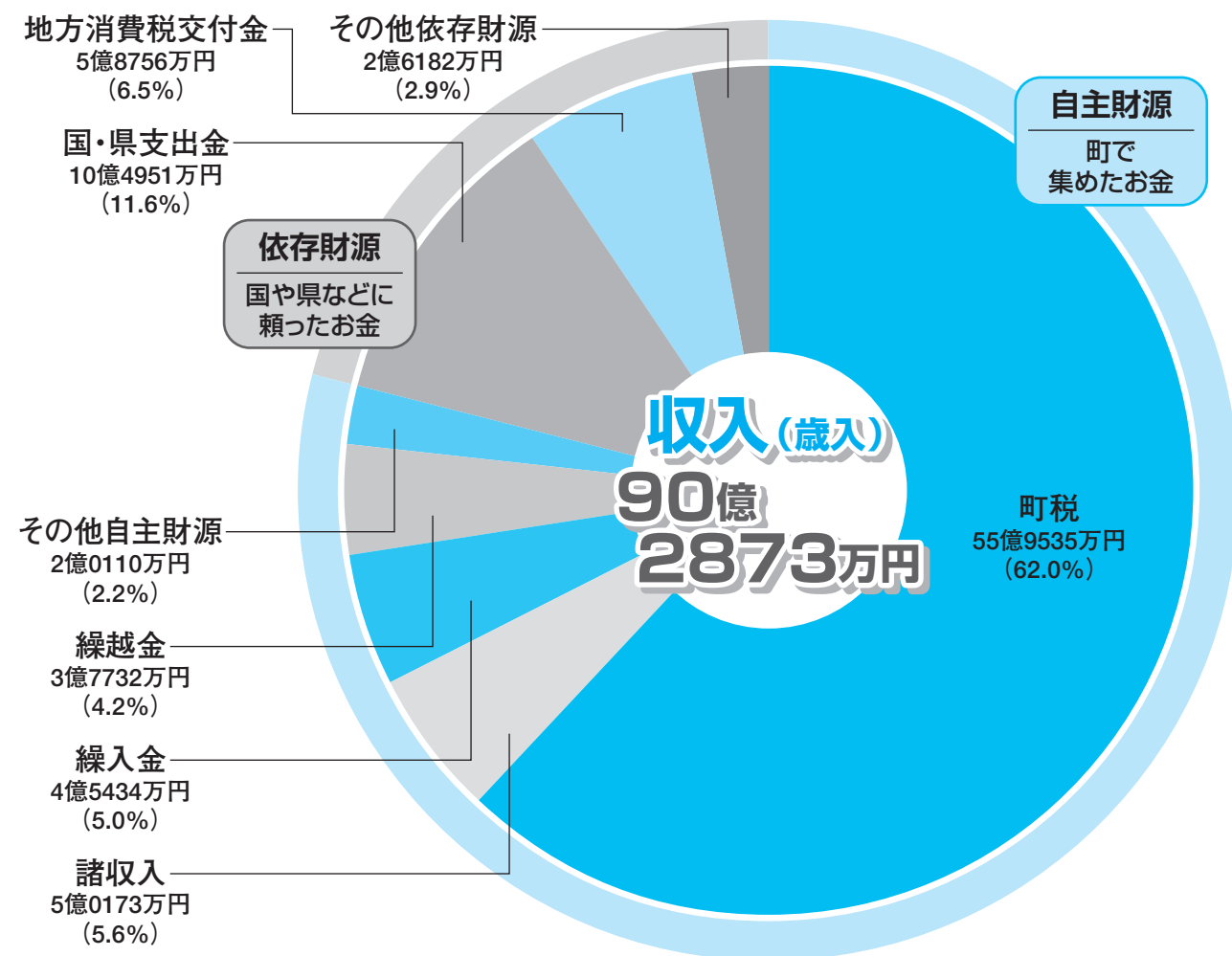
発行：愛知県大口町議会

設備改修・インフラ 整備に17億円

一般会計歳出

87億8687万円

前年度比15.2%増



一般会計歳入歳出の概要

歳入決算額は対前年比、約10億3千万円(12・9%)の増加となりました。主な要因は、好調な企業業績により法人町民税が増加したことなどにより、町税が約3億2千万円(6・1%)増加したことや、設備改修の為に基金を取り崩したことにより繰入金が約4億1千万円増加したことによるものです。歳出決算額は対前年比、約11億6千万円(15・2%)の増額となりました。主な要因は庁舎の空調設備工事(約2億4千万円)、道路改良工事(約1億9千万円)、町民会館の屋根等改修工事(約2億9千万円)などの設備改修、インフラ整備が行われたことによるものです。

■会計別決算の状況

会計区分	一般会計	特別会計								合計
		国際交流	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	公共下水道事業	農業集落家庭排水	土地取得	社本育英事業	
歳入	90億2873万円	509万円	20億7219万円	2億7827万円	11億1743万円	10億3047万円	2742万円	1億334万円	118万円	136億6412万円
前年度比	10億3070万円	26万円	▲3億364万円	▲336万円	2804万円	1億7767万円	176万円	7668万円	▲608万円	10億203万円
歳出	87億7687万円	509万円	20億3831万円	2億7812万円	10億9859万円	10億3047万円	2742万円	7448万円	118万円	133億3053万円
前年度比	11億5616万円	26万円	▲2億8417万円	▲65万円	3360万円	1億7767万円	176万円	4781万円	▲608万円	11億2636万円

※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

9月議会で決まった主要内容など

9月定例会を9月2日から27日までの26日間の会期で開催しました。

○町提出(28議案、1認定) 令和元年度一般会計補正予算(第5号)、教育長の任命など

採決の結果 【全会一致で可決】令和元年度一般会計補正予算(第5号)など26議案

【賛成多数で可決】平成30年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定についてなど4議案

※賛否の分かれた議案については、6ページをご覧ください。

○議員提出(3議案)

採決の結果 【全会一致で可決】国の私学助成の拡充に関する意見書提出についてなど3議案

○請願 審議の結果 【採択】1件

○陳情 審議の結果 【採択】2件 【聞置く】3件

一般質問は11人の議員が町政全般にわたり質問しました。

質疑 あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での
主な質疑を掲載します。

条例の制定・改正

印鑑条例の一部改正

住民基本台帳法施行令の一部改正により、住民票の写し等に現在の氏と旧氏の併記が可能となることに伴い、印鑑登録証明書においても同様の取り扱いとするため、この条例の一部を改正。

問 新旧の氏^{（ヨ）}が認められるので、印鑑も新旧2個の印鑑を登録することは可能か。

答 印鑑登録は一人につき一個と定められている。旧氏の印鑑も登録したいというような申し出があっても、どちらか一方を選択していただくことになる。

平成30年度大口町一般会計及び 特別会計歳入歳出決算認定

一般会計

〔不用額〕

問 30年度は3億8000万円と過去に例がないくらい不用額が出ているが、その理由は。

答 土木費が約1億1500万円、総務費が約8500万円、民生費が約6800万円、商工費が約5200万円。

このうち、土木費の地方道路整備事業で約6200万円の不用額は、当初計画した役場前線工事

で国の交付金の見込みがゼロになったが、国の補正予算の可能性も残されていたため、関連する道路整備も含め対応できるように予算を残した。結果として、多額の不用額が発生した。

また、商工費の企業立地促進事業で約4500万円の不用額は、この事業が企業の計画段階で申

請を認定するため、企業側は見込みで申請する。

事業費の確定は翌年度の2月末以降となり、申請時の課税見込額と実際の課税額に差が生じる。特に30年度は工場の課税見込額において、実際の評価額との差が大きかったため多額の不用額が発生した。

問 年度末に向けて余った予算を精査して不用額を計上しないように努力していると思うが、30年度の対応はどうか。

答 3月補正で大きな執行残については減額補正をお願いしているが、周知不足もしくは職員の意識が薄かったというような理由も考えられる。今後一層周知して執行残については極力減額するように周知していきたい。

「プロジェクト推進事業」

問 委託料の五条川の人道橋架橋調査委託料、調査の成果はどのようなものか。

答 橋を木造で作る知識がないので、民間の方にアドバイザーとしてプロジェクト会議に加わってもらった。委託というかたちで、会議の中で専門知識等をアドバイザーしてもらった。これによりプロジェクトの内容をある程度つかめた。

「廃棄物処分事業」

問 三重県伊賀市に対する環境保全の負担金とはどのようなものか。

答 伊賀市にある民間廃棄物処理業者に、陶磁器、ガラス、在宅医療廃棄物の処分を委託。その量に応じて伊賀市の条例に基づき環境保全の負担金を支払っている。

「住環境整備事業」

問 撤去したブロック塀11件は、本町が危険と判定しているブロック塀のうちどのくらいか。また、撤去、改修工事が終わっていないブロック塀については、どのように所有者にアプローチするのか。

答 町全体の危険なブロック塀の総数は把握していない。

30年度中に無料診断した179件すべてが基準外。未実施者には撤去補助金の案内を送付した。何件かは今年度に撤去。まずは、無料診断を受けてもらい、危険なブロック塀の場所を把握したうえで、撤去補助のお知らせをしていきたい。

「道路維持管理事業」

問 交差点付近ではカラーブミラー、通学路ではカラー舗装、防護柵等の要望が寄せられているとのことだが、その数と実際に設置、舗装等できた数はどれくらいか。

答 カラーブミラーは35件の要望に対し、17か所、カラー舗装は9件の要望に対し2か所、防護柵は9件の要望に対し3か所、それぞれ施工。



バス停も広告を募集しています

「コミュニティバス」

問 コミュニティバス運営支援収入、広告費。成果報告書の利用者を増やす改善策で毎年、運行支援企業の拡大を図ると同じような文言があるが、運行支援収入・広告料収入は毎年、下降傾向にある。具体的にはどのような企業の拡大を図ったのか。

答 支援企業の拡大はできておらず、町が取り組む企業誘致を進める中で協力していただける企業を探しながらということも考えているが、そこまではたどり着いていない。広告料収入については声をかけながら1社でも増やすように努力はしているが、現実には実を結んでいない。

「用語解説」

不用額とは
歳出予算の経費の金額のうち、結果として使用する必要がなくなつた額で、予算額から支出済額と繰越額を除いた残額。



回収された埋立ごみ等の量に応じて伊賀市へ納める金額が決まります



要望で施工された交差点のカラー舗装

賛否が分かれた4議案の討議要旨は次のとおりです。

定例会で賛否の分かれた議案

○＝賛成 ×＝反対

議案名	吉田	江幡	佐名	近藤	江口	船戸	酒井	岡	鈴木	大竹	伊藤	丹羽孝	丹羽勉	齊木	倉知
① パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
② 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
③ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
④ 平成30年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は採決に加わらないため空欄

① パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

反対討論

吉田 正

待遇面の改善は良いことだが、この制度により正規職員の増員を阻害することが懸念される。

どこの自治体も仕事量が増え、慢性的な人手不足になっている。会計年度職員の増加で対応となれば、正規職員の仕事量はますます増大。恒常的に残業が続く職員もいるので、働きやすい環境の整備を。

賛成討論

大竹 伸一

会計年度職員の導入は増加している臨時・非常勤職員が地方行政の重要な担い手になっていることから、適正な任用、勤務条件を確保し、任用、服務規律等の整備、任用要件の厳格化、期末手当の支給を可能とするため、地方公務員法の改正にいたったもの。

② 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正

反対討論

江幡 満世志

本町には対象となる事業者が存在しないのとことだが、本年10月からの幼児教育・保育の無償化が始まれば、保育の必要性を求める家庭も増えると思う。これらの施設が開設される可能性は十分ある。国は緩和措置を設け要件緩和してごまかそうとしているのではないかと。要件緩和された施設で保育の質が保たれるのか、少しでも不安のあることには反対。

賛成討論

江口 昌史

地域型保育事業者の連携施設の確保や、家庭的保育事業者の自園調理が困難な状況から特例及び経過措置を求めるもの。いずれも本町の子育て支援を進めるうえで必要。

③ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正

反対討論

江幡 満世志

食材料費取扱いの変更は賛成。要件緩和については、②で反対したとおり。国の基準緩和により、幼児教育・保育の質はどう変化したか、全国で起きた取り返しのつかない事故は公立園以外の施設や事業所のほうが多いことはデータにより明らかになっている。

賛成討論

江口 昌史

この改正は、②の「地域型保育事業」の改正が、本議案の「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業」の改正にも関係していることや、食材料費の取り扱い変更については、10月からの無償化スタートに関係するものであるもので、どれも早急に進めていかなければならない。

④ 平成30年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について

反対討論

吉田 正

計数よりも集めたお金を住民のために有効に使ったかが決算の主題。財政調整基金の積立額が29億円もあることが適正か疑問。

豊かな財政力を活用すれば、福祉や教育をより充実させることができる。福祉や教育が日本一のまちと言われるように豊かな財政力を発揮することを目指す。

賛成討論

大竹 伸一

単年度の財政力指数は、前年度より低下したが、普通交付税不交付団体のまま。経常収支比率は1・4ポイント減の77・6となり、数値に甘えることなく財政運営が硬直化しないように注意していく姿勢が感じられる。公債費比率についても問題ない数値で推移し、健全な財政が堅持されている。

9月定例会に提出された1件の請願と5件の陳情は、所管の常任委員会で審査しました。

【請願】

・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書

（採択）

【陳情】

・日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

（聞き置く）

請願者

尾北地区教職員組合

執行委員長

真野 昌樹

他82名

岡 孝夫

陳情者

理事長

仲村 覚

・米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

（聞き置く）

陳情者

宜野湾市民の

安全な生活を守る会

会長

平安座 唯雄

・私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書

（聞き置く）

請願・陳情の提出方法

町政に対する意見や要望を、請願・陳情の方法で町議会へ提出できます。

請願は、議員1人以上の紹介が必要ですが、陳情は必要ありません。

～書式例（請願）～

〇〇〇〇を求める請願書	
大口町議会議長 殿	
請願者	住所 氏名
紹介議員〇〇〇〇	印
請願趣旨	
請願事項	

陳情者

代表

私学をよくする

愛知父母懇談会

会長

折出 健二

愛知私学助成を

すすめる会

会長

寺田 京子

採択した請願・陳情に基づき、次の3件の意見書を国や県へ提出することについて審議した結果、いずれも全員賛成で可決しました。

【意見書】

・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
・国の私学助成の拡充に関する意見書
・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書

過去の請願・陳情の審査結果等はこちらをご覧ください。

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2744.htm>

大口町ホームページ ⇒ 町議会 ⇒ 請願、陳情一覧





YouTube
公式チャンネル
「議会大口町」

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

11議員が質問

「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

江口昌史	正規保育士確保に向けた優遇策を ……	P9
船戸光夫	交通安全対策 横断歩道に夜間照明の設置を …… 防犯対策 子どもを犯罪から守るため保護者への周知は	P10
伊藤 浩	高齢運転者の安全対策 何に力をいれるのか …… 西小学校の建て替えは	P11
大竹伸一	学習等共同利用施設 高齢者にやさしい設備の改造は …… 農業の観光産業としての開拓は	P12
近藤時男	多世代が集う憩い広場 架橋等で小口城址公園との一体化を ……	P13
丹羽 孝	子どもに身近な遊び場の設置を …… 電動アシスト自転車購入補助を	P14
佐名かよ子	防災意識向上と啓発手段は …… ライフラインの支援協定は	P15
江幡満世志	信号機と横断歩道の設置を …… 児童相談窓口を身近なものに	P16
吉田 正	福祉バス制度の創設を …… 誰もが外出できる大口町に	P17
丹羽 勉	将来に備え農地の確保を …… 行政区への委託業務見直しを	P18
岡 孝夫	住宅対象の侵入盗犯罪率 昨年はワースト17だが …… 町道豊三線(国道155号交差点以南) 高規格化または全面補修を	P19

待機児童解消

正規保育士確保に向けた優遇策を

健康福祉部長 有効な方法の二つとして今後検討

問 正規保育士を確保するため、保育士養成学校にかかった費用の助成や町外から就職する保育士に家賃助成がでないか。

健康福祉部長 保育業務の大変さを認識しており、本町では国の制度にはない特殊勤務手当を支給している。議員の提案は保育士確保の有効な方法の一つと受け止めており、今後検討していくべき内容と捉えている。

問 共働き家庭を応援するために、保育士を十分に確保し、公立3園の延長保育を30分延長して午後7時までにすることはできないか。

健康福祉部長 保育士の確保が非常に困難で、通常の保育時間内でさえ人員配置に苦慮している状況で更なる延長は、正規保育士に時間外労働を強いるほかない。保育園の利用時間帯の意向調査で18時台後半と回答されたのは全体の

2%程度であるが、今後の動向次第で見直しを迫られることになってくるのではないかと考える。

問 第2子、第3子の出産・育児に専念していただくために、「育児退園」の運用を見直すべきと考えるが。

健康福祉部長 保育園を利用するには、「保育の利用が必要な理由」に該当する必要がある。育児休業の場合は、母親の育児不安などで家庭保育が困難な場合に利用が認められる。

退園後に再入園できる保証はないが、優先的に入園できる配慮はしている。

令和元年9月定例会
一般質問(江口議員)



令和元年9月定例会
一般質問(江口議員)

新ごみ処理施設完成後の環境美化センターの活用は

産業建設部長 今後、構成市町で検討していく

問 尾張北部環境組合のホームページによると、新ごみ処理施設は今年度に環境影響評価、都市計画決定の手続き、用地取得、施設の基本設計が行われるとあるが、現在の進捗状況はどのようなか。

産業建設部長 環境影響評価は本格的な調査に入ったところで、用地取得は組合議会の議決を得ながら進めている。基本設計は公募型プロポーザルで業者を選定したところ。都市計画決定の手続きは、江南市において計画案の作成が順調に進んでいると聞いている。

問 新ごみ処理施設の運用開始予定が令和7年度となっている。本町にある現在の施設は、新ごみ処理施設の運用が始まった後はどうなるのか。

産業建設部長 今のところは検討されていない。施設自体は解体していくのが妥当と考えている。本町の意思のみで決定できないので、組合構成市町で検討していくことになる。



現在のごみ処理施設

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったのかを調査しています。

追 跡

1年前の一般質問から

平成30年9月議会

児童生徒の重たい荷物の軽減を

問 ランドセル等の荷物が重たいことが健康上の問題にもなっている。児童生徒の重たい荷物の軽減を。

答 荷物の現状を把握し、今後の対策を検討する。

大口中学校学力向上対策

問 学力向上のためにどのような対策を講じる予定か。

答 学びスタイル、家庭学習スタンダードや授業研究に力を入れたい。

調査結果より荷物の軽減が必要と判断し、学校に呼び掛けて軽減対策に取り組んでいただいている。例えば、ある学校では、あまり使わない教科書や道具類は教室等で保管できるようにするなど、各学校、学年単位でできる範囲で軽減に取り組んでいただいている。

質問者の満足度

😊 まあまあ

健康被害防止のために取り組んでいたが良かったです。

学びスタイルを踏まえた指導が定着してきている。家庭学習スタンダードは、家庭での子育て10か条とともに家庭に配布し、協力を呼びかけ続けた結果、学習状況の調査で望ましい生活習慣が身につけている実態や、望ましい学習時間が確保されている実態を伺うことができた。

質問者の満足度

😊 まあまあ

学びスタイルや家庭学習スタンダードの更なる徹底を図っていただきたい。

こうなった

交通安全対策

横断歩道に夜間照明の設置を

地域協働部長 地区要望があれば検討のうえ対応

令和元年9月定例会
一般質問(船戸議員)**問** 夜間の横断歩道の照明が必要と考えるが、明が必要と考えるが、現在のところ要望はないが、今後、地区からの要望があれば、現場の様子を確認し、どのような対応が可能か検討したうえで対応する。

地域協働部長

現在のところ要望はないが、今後、地区からの要望があれば、現場の様子を確認し、どのような対応が可能か検討したうえで対応する。

産業建設部長

道路の路面上に凸部を設けるハンプは、特に荷物を積んでいないトラックが通過する際に騒音振動の原因となり、道路沿いにお住いの方に迷惑をおかけする可能性がある。

問 生活道路において速度規制のため横断歩道・一時停止の手前にハンプやラポールによる狭窄で幅員を狭める方

度

道路脇に一定間隔で立てるラポールは、運転手に対する圧迫感や速度の抑止力が高まること



生活道路の横断歩道手前に速度抑制対策を

防犯対策

子どもを犯罪から守るため保護者への周知は

生涯教育部長 メールにて防犯情報を提供

出典：愛知県警察本部
ホームページより**問** 子どもを犯罪から守る合言葉の「つみきおに」のイラストを交えたグッズが保護者に配布されていると思うが、意見や問い合わせ等はあるか。また、保護者が集まる機会等で防犯講習会、情報交換会、連絡会議等は行われているか。

生涯教育部長

各学校でリーフレットの配布後に、保護者からの意見は特にない。また、PTA・保護者会で防犯に特化した情報交換会、連絡会議は特に行っていないが、町主催の「大口町地域安全パトロール協議会代表者会」に小中学校校長やPTAが出席し、情報共有や意見交換会を行っている。

その他の情報共有手段については、「大口町教育委員会不審者情報・緊急情報ネットワーク」を活用し、教育委員会に入った近隣の防犯情報を保護者へメールにて提供している。

高齢運転者の安全対策

何に力をいれるのか

地域協働部長 講習会等を通じて啓発していきたい

問 運転免許証を自主返納すると、運転経歴証明書が交付申請ができるが、申請場所と費用はどのようか。また、返納者への特典はあるのか。

地域協働部長

安全運転をするのに心がけると良いことは何か。

地域協働部長

確実な一時停止、交差点などの出会い頭に注意、右折は急がず慎重にといったことがある。これらは高齢者に限ったことではないが、「自分は大丈夫」と過信せず、自身の健康と能力を確認しながらハンドルを握ることが重要と考える。

地域協働部長

愛知県内の警察署で返納と運転経歴証明書の交付申請ができる。交付手数料は1100円。町独自の特典は設けていないが、県警が実施している特典付与制度により、加盟店舗で割引等のサービスを受けることができる。

令和元年9月定例会
一般質問(伊藤議員)出典：警察庁ウェブサイト
運転経歴証明書について

西小学校の建て替えは

生涯教育部長 適切な時期に検討



前日の雨により足場の悪い中で行われた運動会(昨年度)

問 運動会前日が雨天だと運動場の水はけが悪く、準備にボランティアの方が大変苦労してみえる。排水の改修工事をするのか。

生涯教育部長

早急に手を入れる必要性を感じている。校舎や体育館の長寿命化計画と並行して運動場についても改修工法の検討、概算工事費の算出を急いでおり、校舎と体育館の対応後に取り組んでいきたい。

生涯教育部長

耐震補強工事を行って

いるため、いまある資産を最大限活用し、長寿命化改修を行うことで、明るく安心して過ごせる学校を作っていきたい。建て替えについては、出生率や人口流入の推移なども見守りながら、適切な時期を図って検討したい。

問 長寿命化を図るために改修工事に向けた基本プランを作成すると予算の概要に記述。西小を建て替える気はないのか。

生涯教育部長

耐震補強工事を行って

高齢者にやさしい設備の改造は

地域協働部長 先行設置施設の様子を見て検討



令和元年9月定例会
一般質問(大竹議員)



階段自動昇降機を設置予定の
余野学共

問 学習等共同利用施設は、町民、地域の憩いの場、学習、集会の場として利用頻度が多いが、築40年近くなる。安心して利用するために保守点検が必要であるが、点検の進捗状況は。

地域協働部長 計画的な修繕を行い、施設の長寿命化、改修費用の縮減等を図るための計画を平成28年に策定。また、昨年度、屋上防水の点検を実施し、改めて施設の現状を確認。

問 各地域でも利用者の高齢化は避けられない現実の中、今後さらに利用者の増加を図る助言は。

地域協働部長 町では地域の拠点施設として位置付けている。高齢化が進む中、町は地域包括ケアシステムの構築を進めており、仲間づくり、地域づくりをするサロン活動の場としても有用と考えている。こうした有用性等を唱えること

問 今後高齢者が増え続ける中、現存施設を改造とか、追加設備、変更など高齢者にやさしい設備改造は。

地域協働部長 今年度、階段の自動昇降機を余野学習等共同利用施設に先行して設置するので、ここでの様子を見ながら、他地域への展開を検討する。

農業の観光産業としての開拓は

産業建設部長 まずは可能性を調査したい

問 農業者の高齢化と後継者不足により休耕地は増加の一途であるが、耕作地と休耕地の面積数と割合はどれほどか。

産業建設部長 30年度末現在の農地面積は約483ヘクタールうち、休耕地(遊休農地)は約5ヘクタール(1.04%)。

問 休耕地等を活用した水耕栽培、菜園などの観光農園に取組むことで、まちの活性化や雇用拡大につなげることはできないか。

産業建設部長 休耕地を観光農園として活用することは、農業者所得向上のための6次産業化の取り組みとして興味深い。ノウハウを持つ事業実施者の発見が課題となる。まずは、JAなどの協力を得ながら可能性について調査したい。



他県の観光農園内にある水耕栽培施設

多世代が集う憩い広場

産業建設部長 地域の理解と同意が必要

問 小口城址公園では、秋に伝統芸能発表会が開催される。春の桜の季節だけでなく、秋の紅葉にも人が集まるよう、多世代が集う憩い広場にモミジ類を植えてはどうか。

産業建設部長 多世代が集う憩い広場にはソメイヨシノ、ソゴ、ヤマモモ、エンジュ、ヤマボウシ、イロハモミジ等様々な樹種を点在させて植えている。それぞれが成長した時を想定して一定の間隔で植えており、今後、「おおぐち観鋭桜」も数本植える予定であるため、植栽できるスペースに限りがあることから、多くのモミジを植えることは難しい。

問 小口城址公園と多世代が集う憩い広場は、町道で隔てられている。二つの公園をまたぐ橋を架けるなどして一体化し、互いの公園利用の相乗効果を高めることはできないか。

産業建設部長 歩道橋は構等による段差はバリアフリーの観点から、好ましくない。代わりに町道を歩行者専用道路にすることが考えられる。しかし、本来道路は過去の経過の中で必要性があり存在するもの。地域の皆さんの理解と同意が必要であるため、慎重に対応していきたい。

問 あずまやはあるが、公園の利用者数を考慮すると日陰が少ないと感じる。屋根のある施設を増やせないか。

産業建設部長 芝生部分に樹木を植えたが、まだ小さいため木陰で休憩できるようにするまでは年数がかかる。現状、公園敷地に対して日陰となるような屋根のある施設が少ないのは指摘のとおり。屋根のある休憩施設は、遊具の周辺で子どもを見守れるような位置に設置することを前向きに検討したい。



令和元年9月定例会
一般質問(近藤議員)



小口城址公園と多世代が集う憩い広場を隔てる町道



現在は日陰で休める場所が少ない状況です

子どもに身近な遊び場の設置を

産業建設部長 防災拠点兼ねた公園を検討



令和元年9月定例会
一般質問(丹羽孝議員)

され、防災拠点にもなるような公園を地域の皆さんと一緒に検討していきたいと考える。

問 都市計画マスタープランの公園整備の今後の方針は。

産業建設部長 人口1人あたり10㎡の公園整備を目標に、町民が利用しやすい街区公園の整備をしていきたい。

問 町民から公園が少ないとの声があるが。

産業建設部長 子どもが増加している

上小口地区には都市公園がなく、2つの児童遊園では面的にも小さいと認識している。

問 5年前と比較し人口の人口は35・9%増、子どもの数は207人から436人と倍増している。子どもを安心して育てる環境整備は大丈夫か。

生涯教育部長 小学校、放課後児童クラブとも受け入れに支障はないと考えている。

問 上小口地区に、子どもに身近で、安全に遊べる場の設置を。

産業建設部長 子どもの増加が一段落した後も、日常的に利用

5年間の人口増減(各年3月31日現在)

		平成26年		平成31年			
		人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
大口町	～14歳	3,541	100.0	3,745	100.0	204	5.8
	全体	22,485	100.0	24,149	100.0	1664	7.4
上小口	～14歳	207	5.8	436	11.6	229	110.6
	全体	1,606	7.1	2,183	9.0	577	35.9

電動アシスト自転車購入補助を

地域協働部長 補助制度は考えていない

問 昨年、町民一人当たりの自転車事故が再び増加している。内容と町の対策は。

地域協働部長 事故死傷者数は41人。

また、町民が当事者の事故は11件で、子どもが6件、高齢者が4件。削減対策は安全運転啓発活動や参加型の自転車教室等を行っていく。

問 電動アシスト自転車は足腰の弱った高齢者の漕ぎ出す力をサポートできる。余裕を持った自転車運転が可能となり、事故削減に有効と考える。

また、自動車運転免許自主返納促進策として松江市も補助を実施され効果を上げられた。購入額の一部補助はできないか。

地域協働部長 高齢者の事故削減対策

については、警察が実施する「交通安全教室」等への積極的な参加を促す。自動車運転免許証の自主返納促進策として補助制度を設けることは考えていない。

自転車交通事故(平成30年:人口1万人当たり)

乗車中の交通事故死傷者数			利用者が第一原因の事故発生件数		
1位	中区	19.92人	1位	岩倉市	5.01件
2位	大口町	17.08人	4位	大口町	4.58件
愛知県平均			愛知県平均		

愛知県警資料より

防災意識向上と啓発手段は

地域協働部長 防災マップやまちのカレンダーを活用

問 「あんしん・安全ねっと」の登録、防災行政無線(戸別受信機)設置の現状は。

地域協働部長 31年3月時点「あんしん・安全ねっと」の登録は2373件、対前年155件増加。防災行政無線(戸別受信機)の設置は4181件、対前年26件の増加。

問 防災意識の向上と今後の普及・啓発の手段と活用はどのようにするのか。

地域協働部長 防災マップには非常時の持ち出し品チェックリスト、まちのカレンダーにはいざという時のチェックリストを掲載。新たに作るのではなく、既存のものをより有効活用していきたい。

問 家庭の防災力を高めるための高齢者世帯や障がい者世帯への対策は。

地域協働部長 地域包括支援センターや民生・児童委員の方の見守り訪問時に合わせ、防災に関するチラシの配布等をお願いし、意識の啓発を強化できるように関係者の協力を得ながら実施したい。



令和元年9月定例会
一般質問(佐名議員)



いざという時に備えて設置を

ライフラインの支援協定は

地域協働部長 ガス・水道のほか、電気は申合せ書を締結

問 ライフラインの支援協定の現状は。

地域協働部長 協定はガス関係が3つ、水道関係が1つ締結されている。電気については「申合せ書」というものを締結している。

問 被災した場合、飲料は必要不可欠。地域貢献型自動販売機の増設を。

地域協働部長 事業者側が採算性と地域貢献の度合いを総合的に勘案して設置されるものと考えられ、町の要望だけでは設置できないと思われる。

この質問をきっかけに、真に必要と思われる場所については、事業者と協議したい。



役場に設置されている地域貢献型自販機

問 今後、町内のガソリンスタンド、コンビニ、ドラッグストア等と支援協定を締結できないか。

地域協働部長 支援協定は、意向が大前提。例えば、本社、関連会社が町内にあったり、地域貢献に力を入れているなど、様々な動機付けのもとマッチングできると考えている。

「提案の事業所については、近隣の状況を調査しつつ意向を伺えばと考える。

信号機と横断歩道の設置を

地域協働部長 現状を確認し江南警察署に相談



令和元年9月定例会
一般質問(江幡議員)

問 県道若宮江南線、新宮二丁目交差点と伝

右交差点間では、近年の企業進出により交通量が

増大。特にトラックの通行量が多く、時間帯で大渋滞する。その道路を地元の高齢者や通勤の自転車等

が横断しているが、極めて危険。信号機と横断歩道の設置を求める。

地域協働部長 新設については、設置場所、設置条件等を含め

現状を確認したうえで江南警察署に相談したい。

問 この区間で過去に人身事故等は何件あったか。

地域協働部長

平成26年から30年までの5年間で発生した人身

事故は20件。なお、国道41号の新宮二丁目交差点で発生した事故は含んでいない。

問 何か良い対処はないか。

地域協働部長 当該区間の車両については、企業誘致、国道41号の6車線化により増えている。セーコー(株)に曲がる角は交差点改良を実施するので、ふくらみは解消され、渋滞緩和については、できめんに現れるかは分からないが、多少の渋滞緩和につながると思っている。



朝の混雑時には渋滞の隙間から横断する歩行者や自転車がいることも

児童相談窓口を身近なものに

健康福祉部長 包括支援センターの設置を協議中

問 近年、社会や家庭・学校と環境も問題も

多様化しており、子どもへの対応も難しく、月に一度だけの家庭育児相談

では十分といえない。町の総合計画でも「次代を担う人づくり」を推進

します。」となっている。相談窓口をもっと身近にするため、毎週できないか。

健康福祉部長 北児童センターにて県

の家庭児童相談員による相談事業を月1回実施。相談内容の多くは療育に関するもので、相談機会

は充足していると考え。その一方で妊婦期から産前・産後、乳児期とい

った段階に応じた子育てに関する情報提供の必要性は認識。妊婦期から子育て期に渡る総合支援を

目的とした「子育て世代包括支援センター」の設置に向けて協議中。

問 子ども食堂を月に1回でも開催できないか。

健康福祉部長 今年の3月

定例会でも同様の質問に対し、住民の中から発意されたものは行政として支援を検討すると回答。

質問の意図は「子ども食堂を例に子どもや親が悩みを打ち明けられる身近な場所が必要」と拝察

現在実施している子育て支援センターの「子育て相談」や児童センターの「広場事業」などがそ

の役割を担っていると考え。



月1回、家庭児童相談員による相談会を実施している北児童センター

福祉バス制度の創設を

総務部長 本町の制度は幅広い住民団体が利用可能

問 一宮市や犬山市など

で福祉バスの制度がある。福祉バスは、子ども会、老人クラブなどの

団体が利用でき、研修会、社会見学など住民相互の

交流を深め、福祉の目的を増進している。

本町の行政バスは、福祉バスの性格ではなく、町の代表で出席するよう

な場合に利用できる。地域の団体も利用できる福祉バスを作

る。

総務部長 本町はバスを所有していた

時から、法令等に違反しない範囲で幅広い住民団

体等が利用できるように努めてきた。その方針は、

町バス廃止に伴う運用見直しでも引き継がれてい

る。制度の名称は違うもの、他自治体よりは対象とする団体や事業も幅広

く、委託方式としたことで車両の大きさや台数など、利便性は高まっている。



長年使用した町所有バス。故障を機に手放しました



令和元年9月定例会
一般質問(吉田議員)

誰もが外出できる大口町に

町長 できる限り改善していきたい

問 巡回バスに小牧市の

ように介助する人を乗車させ、外出困難者が

外出しやすくしてほしい。

地域協働部長 車いす利用

者には限定した話だが、ハイエース以外の3車両については車

いすでの乗降も可能。その際は、運転士が介助している。

運転士がお手伝いできることがあれば、可能な範囲で対応したい。

問 タクシー助成については、天候により外出できない人もい

る。障がい者の等級だけで適用させるのではなく、その人の

実態に応じて支給を。

地域協働部長 制度として

利用しても、一定の基準のもとに制度化する必要がある

あり、その基準として障がいの等級を利用して

いる。地域包括支援センター

では、対象者の要望を個別に伺い、その方の障がい

にあった外出支援のサービスへとつなげている。

問 車いすや杖を使うなど、自分で動くこ

とにできる機能を最大限發揮して生活できるような

環境の整備が必要だと思うが、町長の見解は。

町長 本町も決してバリアフリーの施設が

整っているとは言えない。ここ何十年の間に解決

できる問題ではないことは重々分かっている。

改善できるところは、できるだけ改善していく

のが我々の使命だと感じており、また、町民が安心して安全に暮らしてい

ける地域を作っていくのも我々の仕事と感

じている。

一朝一夕にできるものではないので、努力を惜しむことなく続けてい

将来に備え農地の確保を

総務部長 必要になったときに購入



令和元年9月定例会
一般質問（丹羽勉議員）

問 役場の事務が、本庁舎、健康文化センター、中央公民館に分散していることで、町民に迷惑をかけていないか。

総務部長 事務申請される方の移動を極力省けるよう、関係各課が連携して事務処理の仕組みを整え対応している。

問 町の貯金である財政調整基金を活用し、将来に備えて農地を取得することはできないか。

総務部長 あくまでも農地の保有に関しては利用目的の有無が大前提。何らかの将来構想に基づいて必要になっ

問 たとき、それから構想はないけど、そのあたりに可能性があつて、土地所有者が処分を考えたときには何らかの目的をもって購入していくことがありつると考えている。

総務部長 地保有に関しては利用目的の有無が大前提。何らかの将来構想に基づいて必要になっ

問 町の貯金である財政調整基金を活用し、将来に備えて農地を取得することはできないか。

総務部長 あくまでも農地の保有に関しては利用目的の有無が大前提。何らかの将来構想に基づいて必要になっ

問 たとき、それから構想はないけど、そのあたりに可能性があつて、土地所有者が処分を考えたときには何らかの目的をもって購入していくことがありつると考えている。

総務部長 地保有に関しては利用目的の有無が大前提。何らかの将来構想に基づいて必要になっ

問 町の貯金である財政調整基金を活用し、将来に備えて農地を取得することはできないか。

総務部長 あくまでも農地の保有に関しては利用目的の有無が大前提。何らかの将来構想に基づいて必要になっ



将来の庁舎再編に向けて農地の取得を

行政区への委託業務見直しを 地域協働部長 過度な負担がかからないよう検討

問 町が行政区に委託している業務が複雑多岐にわたることから、行政区役員の人選に苦慮している。業務の見直しはできないか。

地域協働部長 これからの地域づくり検討委員会、将来的な状況を想定して住民の皆さんにとって、一番身近な地域の組織である行政区が継続でき、区長に過度な負担がかからない制度を検討していく。

問 幹線道路で分断された行政区、規模が大きくなりすぎた行政区等の境界を見直す考えはないか。

地域協働部長 国道41号が貫通する以前から行政区のつながりは形成されており、結果として分断された。行政区の付き合いは町が定めたものではないため、地域の運営で不都合がある」と相談を受けた折には、一緒に考えていきたい。

問 町が行政区に委託している業務が複雑多岐にわたることから、行政区役員の人選に苦慮している。業務の見直しはできないか。

地域協働部長 これからの地域づくり検討委員会、将来的な状況を想定して住民の皆さんにとって、一番身近な地域の組織である行政区が継続でき、区長に過度な負担がかからない制度を検討していく。

問 町が行政区に委託している業務が複雑多岐にわたることから、行政区役員の人選に苦慮している。業務の見直しはできないか。

地域協働部長 これからの地域づくり検討委員会、将来的な状況を想定して住民の皆さんにとって、一番身近な地域の組織である行政区が継続でき、区長に過度な負担がかからない制度を検討していく。



現在の行政区（青線は国道41号）

住宅対象の侵入盗犯罪率

去年はワースト17だが

地域協働部長 地道な努力を続けていきたい

問 本町の住宅を対象とした侵入盗認知件数11件の内訳は。

地域協働部長 留守宅に侵入する空き巣が6件、就寝時に侵入する忍込みが5件、昼の在宅時に侵入する居空きが0件。

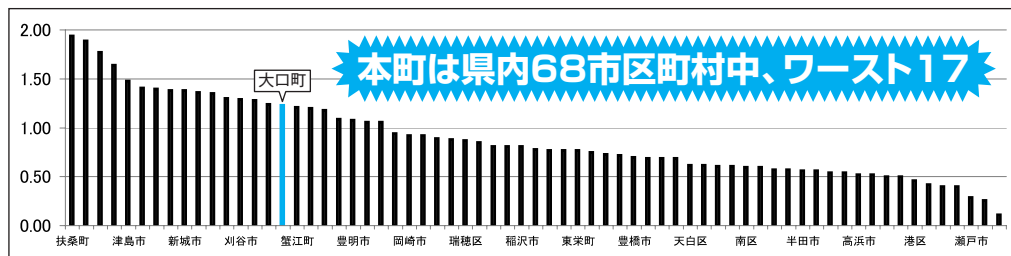
問 本町の住宅を対象とした犯罪率が県内平均値を上回っているという認識はあったか。また、職員間の情報共有は。

地域協働部長 認識はあった。情報共有は行っていないが、「あんしん・安全ねつと」や広報誌により情報提供を行っているので、多くの職員は認識を持っていると思う。



令和元年9月定例会
一般質問（岡孝夫議員）

平成30年中の住宅を対象とした侵入盗の確定値（犯罪率）（単位％）



飛島村の犯罪率は9.52と、他の市区町村との乖離があまりにも大きかったため、グラフ上は未記載とした

町道豊三線（国道155号交差点以南） 高規格化または全面補修を 産業建設部長 耐久性のある舗装を検討

問 当該町道に係る24年度以降の主要町道の舗装状態調査結果はどのようか。

産業建設部長 町道西武線と交わる豊田三丁目交差点付近から小牧市三ツ刈原新田交差点に至る区間の修繕が必要とされた。

産業建設部長 30年度策定の舗装修繕計画では、大型車両の交通量等を調査し、耐久性のある舗装を検討。多額の費用が掛かるため国の交付金等を含め計画しているが、昨今、削減されている状況。計画の達成に向け、経費の削減を図りながら町単独費での施工を実施していきたい。

問 従前より、部分補修等実施していただいているが、大型車両の通行時、道路の凹凸により騒音・振動が発生し、住民苦情がある。部分補修

産業建設部長 30年度策定の舗装修繕計画では、大型車両の交通量等を調査し、耐久性のある舗装を検討。多額の費用が掛かるため国の交付金等を含め計画しているが、昨今、削減されている状況。計画の達成に向け、経費の削減を図りながら町単独費での施工を実施していきたい。



道路の損傷が激しく、時折、落雷のような大きな走行音が。
（豊田三丁目信号交差点 南側）

まちの 元気者

子どもたちに物を 大切にする心を

～おもちゃ病院おおぐちのみなさん～

♪ 設立のきっかけと会員数は？

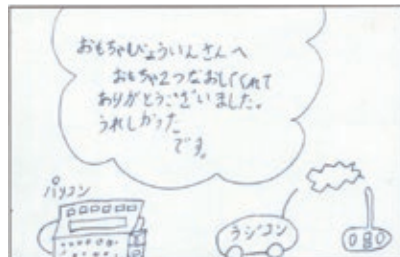
町社会福祉協議会ボランティア養成講座の、おもちゃ病院ドクター募集をきっかけに平成19年4月に発足し、同協議会の支援のもと、今年で11年目となります。現在メンバーは地元企業のOBを中心に40代から70代の男女11人で構成されています。



私たちと一緒に活動しませんか

♪ どんな活動内容ですか？

工作が趣味で修理に興味がある人たちが集まってドクターとなり、持ち込まれたおもちゃの修理をほとんど無料で行っています。ゲーム機やブリキのおもちゃなど扱えないものもありますが、これまで1000件を超える依頼がありました。毎月第2土曜日、午前10時から正午まで健康文化センター2階のまかせて広場で活動しています。



お礼のお手紙はうれしいですね

♪ ドクター募集中！

現在、ドクターを募集しています。おもちゃの修理に興味のある人なら、地域、年齢、性別問わず歓迎します。わたしたちと一緒に子どもたちに笑顔を届けませんか。詳しくは伊藤代表（携帯）080-5100-1564まで。

取材を終えて

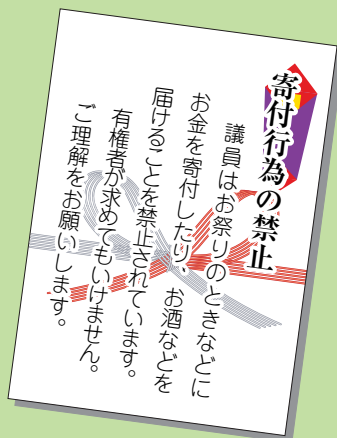
物を大切にすることで生活に良い影響を与え、人間関係まで良くなるといったこともあるようです。物を大切にする心を分かってほしいと話すおもちゃ病院おおぐちの皆さんから何気ない日常の中で幸せに生きるためのヒントをいただいたような気が致しました。

（江口昌史）

表紙の写真

中止になった昨年の分も、元気いっぱい
に踊り切りました。

（やろ舞い大祭）



会議録が閲覧できます

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>



みなさん議会傍聴に 来てください

12月定例会予定

- 11月29日(金) 提案説明
- 12月 2日(月) 一般質問
- 12月 3日(火) 一般質問
- 12月 5日(木) 質疑
- 12月 6日(金) 質疑・委員会付託
- 12月10日(火) 総務建設常任委員会
- 12月12日(木) 文教福祉常任委員会
- 12月19日(木) 討論・採決

※開始時刻は、いずれも午前9時30分から。
※日程は、変更になる場合があります。

手続きは簡単です！
役場3階で名前を書くだけ

9月定例会 No.222
令和元年10月25日



発行／大口町議会 編集／議会広報常任委員会
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小口七丁目15番地
TEL (0587) 95-1702 (直通) FAX 95-1454
議会だよりは再生紙を使用しています。

議長 倉知 敏美
副議長 大竹 伸一
議員 船戸 光夫
佐名 かよ子
江口 昌史
岡本 義彦
鈴木 彦夫